

文学部

人間学科 英語教育学科

人材養成等教育研究に係る目的

文学部は、学部創設以来、全人教育の理念のもと、地球市民として社会に貢献できる広い視野と柔軟な対応力を備えた人材養成を目指している。そのため、豊かな表現力、論理的思考力、コミュニケーション能力という社会人としての基礎力を育成するための学科構成およびカリキュラム編成を行っている。

人間学科は、「思想」、「心理」、「社会」、「倫理」、「教育」という5分野横断型のカリキュラムを通して、人間についての幅広い視野と深い洞察力を育成し、多様な価値観に対応できる能力を持ち、グローバル社会に貢献することができる人材を養成する。教職課程においては、人間への多面的理解を基盤に、論理的思考力と豊かな表現力を持ち、5分野における包括的知識を活用し、教育現場に貢献できる社会科・公民科教員を養成する。

英語教育学科は、「英語教員養成コース」と「ELFコミュニケーションコース」の2領域で構成され、グローバル化に伴う言語や文化の多様化に対応できる資質・能力を育成することを目指し、国際コミュニケーションのための英語運用能力を身につけることを共通目標としている。「英語教員養成コース」では、英語教員に求められる豊かな言語観・文化観と指導力を、「ELFコミュニケーションコース」では、国際共通語としての英語コミュニケーション能力を育成し、積極的に国際社会に貢献することのできる人材を養成する。

文学部 ディプロマ・ポリシー

[人間学科]

人間学科が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身につけることが卒業時における到達目標となる。

- ① 人間および人間が創り出したさまざまな文化について幅広い視野をもち、多面的に理解できる。
- ② 多様な価値観を認識し、それらへの関心を深めるとともに、批判的思考力や真実を探究する能力を持ち、自らの価値観を形成できる。
- ③ 人間や諸文化について関心を持ち、多様な人や文化と共生でき、課題解決のために地球市民の一人として行動できる。
- ④ 人間や文化に関する諸文献や資料を理解する能力をもつとともに、社会で通用するコミュニケーション能力を身につけることができる。
- ⑤ 自らの研究・考察の成果を、口頭あるいは文書で論理的に表現することができる。
- ⑥ 教職課程の受講生は、人間への多面的理解を基盤に、論理的思考力と豊かな表現力を持ち、教育現場において包括的知識を活用できる、社会科・公民科教員としての資質をもつことができる。

[英語教育学科]

英語教育学科が重視する学士力には以下の項目があげられ、これらを身につけることが卒業時における到達目標となる。

- ① 社会で通用する英語運用能力（TOEIC650点相当程度以上）を外部標準テストなどで証明することができる。
- ② 日英両語で運用されるコンテンツ科目を学修した成果を卒業研究で示すことができる。
- ③ 自らの観察・研究・考察の成果を、口頭および文書で論理的に表現し、獲得した知識を実践に活かすことができる。
- ④ 言語と文化の多様性を理解・受容でき、問題解決のために国際的な視野を持って積極的に行動することができる。
- ⑤ 中学校・高等学校等の教育現場において国際共通語としての英語を用いて授業ができる能力を十分に有し、英語教育にかかわる言語や文化についての専門的な知識を駆使して、中学校・高等学校等の教育機関における英語教育に貢献できる。または、国際共通語としての英語を駆使し、多言語・多文化社会においてコミュニケーションを円滑に図りながら、国際社会に貢献することができる。